ボーリング柱状図

調　査　名　佐渡一周線離島地方道改築　地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

名	BV14-1	調査位置	新潟県両津市大字虫崎　地内					北緯	
関	佐渡地域振興局　地域整備部　土木課			調査期間	平成 14年 7月 20日 ～ 14年 7月 22日			東経	
名	㈱キタック 電話（0259－24－1144）	主任技師	藤ノ木幸夫	現場代理人	江川千洋	コア鑑定者	江川千洋	ボーリング責任者	志田　香
高	9.37m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機 YBM-05 / ハンマー落下用具 コーンブーリー
長	9.00m								エンジン ヤンマーNFAD8 / ポンプ

深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
0.10		表土	黒			植物根および2cmほどの礫を含む砂混じりシルト。
0.90		混じり砂質シルト	茶褐			径3cmほどの安山岩の角礫を含む砂混じりシルト。含水量は少なく、締まっている。
5.50		礫混じり砂質シルト	緑灰			径1～4cmほどのデイサイトの亜角～角礫を30～40%含む。マトリックスは凝灰質な砂質シルトで、含水量は中位である。粘性に低い。 4.50～4.65m　若干粘性が高い。 4.65～5.00m　3～5cmほどのデイサイト礫を主体とする。
8.20		玉石	褐灰～灰			径3～25cmの安山岩の玉石を主体とする。礫の円磨度は高い。 礫はハンマーの打撃で金属音を発し、容易に割れない。 マトリックスは採取されない。 6.30～6.65m　凝灰岩礫で、一部粘土状コアとして採取される。 6.50m　湧水 7.00～8.20m　硬質の安山岩で、最大30cmほどの棒状コアとして採取される。 7.80～8.00m　非常に円磨度の高い安山岩礫。
9.00		礫岩 火山礫凝灰岩	灰緑			径数cmほどの角礫を含むデイサイト質な火山礫凝灰岩。 ハンマーの打撃で金属音を発するが、割れ目に沿って割れやすい。割れ目に沿って酸化褐色化が認められる。

孔内水位(m)／測定月日：7/22 6.05

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)
1.15	3	4	3	10／30
1.45～2.15	2	3	3	8／30
2.45～3.15	2	2	2	6／30
3.45～4.15	2	3	7	12／30
4.45～5.15	16	7	2	25／30
5.45～6.15	20	30／5		50／15
6.30～7.00	50／1			50／1
7.01～8.00	貫入不能			50／0
8.00～9.00	貫入不能			50／0

N 値　0　10　20　30　40　50

原位置試験　深度 (m)　試験名および結果

試料採取　深度 (m)　試料番号　採取方法

室内試験（　）